

営業所からのお便り (5)

別海営業所からの紹介： TMR利用組合 マイスターフードSFR

・マイスターフードSFR概要

今回は、JA道東あさひ西春別支所「TMR利用組合マイスターフードSFR」を御紹介致します。

マイスターフードSFRは、平成20年9月より稼働したTMRセンターです。代表である小牧俊雄氏の呼びかけで、同地区の日向和哉氏、竹田芳見氏、木幡誠氏、佐藤邦彦氏、上川床真幸氏の6名で構成されております。飼養体系は、全戸繋ぎ飼いで、放牧体系を実施している方もいらっしゃいます。草地面積は、約400haで、毎年50ha以上草地更新を積極的に行っており、草地更新の際は、当社育成品種であるアルファルファ「ケレス」を積極的に導入していただいております。

・マイスターフードSFR運営形態

マイスターフードSFRは、付帯設備への投資削減として、飼料調整庫、スタックサイロ調整場所、事務所の建設しか行いませんでした。スタックサイロは、バンカーサイロと比較すると投資が抑えられています。

スタックサイロに調整したサイレージは、発酵品質、栄養価ともに良好です。紙袋を保管する倉庫は建設せず、ビタミン・ミネラルは配合飼料に組み込み、飼料タンクから排出される飼料のみで混合するシンプルな体系です。ミキサーから配送用のトラックへ排出されたTMRは、各戸へバラ配送されております。

・TMRの夏場対策

センターから供給されたTMRの夏場における2次発酵対策として、「サイロ見張番」を活用しております。「サイロ見張番」の成分は、アリルイソチオシアネート(からし油の香気成分)を有効成分にしています。鼻にツーンとくる香気成分には酵母やカビに対して強い抗菌作用があります。写真のように専用の「見張番シート」を使い、シートについているポケットの中に「サイロ見張番」入れ、TMRを覆い被せるように使用しております。これにより、TMRの発熱抑制に効果があります。



<各牧場の受入施設>



<スタックサイロの調整場所>



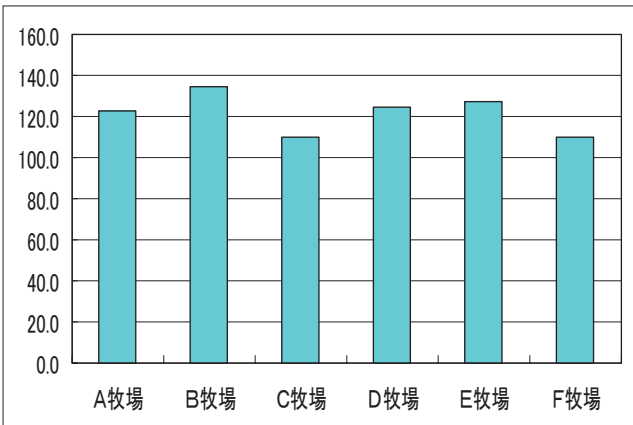
<サイロ見張番>



<保存方法例>

・TMR供給後乳量の推移

平成20年9月よりTMRが供給され始めたことで、安定した飼料給与が可能となりました。平成20年の乳量を100%とした場合の、平成21年の平均乳量の割合をグラフに表したところ、各農家とも前年乳量を上回り、110%~134%の伸びを記録しており、良好な成績を示しております。



・今後の課題

TMR供給から約2年経過し、今後想定される課題として下記のようなことがあります。

- ①乾乳牛、育成牛の給与メニュー、飼養管理方法の確立
 - ②繁殖成績の維持、向上
 - ③放牧時期の飼養体系方法の確立
 - ④積極的な草地更新、草地の維持、管理
 - ⑤堆肥、ふん尿の有効活用
- などが上げられます。

最後に

御忙しい中、突然の取材要請に快く御答え頂き、また貴重な経営概要から生産成績まで提供して頂いた、マイスターフードSFRの皆様には厚く御礼申し上げます。

(別海営業所 高島)